

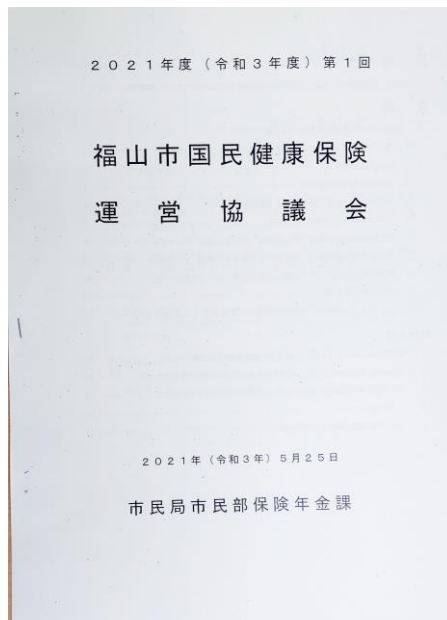
コロナ禍が続く中、1人目からの子ども均等割り減免を継続！国保税も前年比3,915円値下げ！

2021年度第1回福山市国民健康保険運営協議会が、5月25日（火）13：30～福山市役所本庁3階会議室で開催され、2021年度の国保税について協議が行われました。福山市が提案した内容が賛成多数で承認されました。定員24名中18名が出席。

小川副市長が開会挨拶で、全世代型社会保障が求められる中、収納率の向上と健康づくりに取り組んでいく。と発言。2月の予算案では、2,844円の引き下げでしたが、コロナ禍の影響を考慮し、国保会計の決算剰余金から9千万円を繰り入れ、合計3,915円の引き下げを実施。また、子ども均等割り減免も昨年同様1人目からを継続することとなりました。

コロナの影響で減収した世帯への減免に対し、昨年度は国の補助が100%あったが、今年度は20%しかない。後は県にも要望するが、市の決算剰余金などで賄う予定。

高木武志市議が、コロナ禍で厳しい所得状況であるので、残りの決算剰余金を繰り入れて更に保険税の引き下げを求めましたが、福山市から、制度の持続性を確保するため、値下げは困難と答えると同時に、試算では6億円を繰り入れればさらに6,600円の引き下げが可能と答弁。（決算剰余金7億円を繰り入れれば、1万円の値下げが可能ということ）



※ 1人当 国民健康保険税額

区分	2020年度		2021年度				県単価	
	予算額	算定額①	予算額②	増減②-①	算定額③	増減③-①		
医療分	円	63,890	66,663	60,709	▲ 5,954	65,384	▲ 1,279	60,709
支援分	円	21,794	18,414	23,697	5,283	17,994	▲ 420	23,697
小計	円	85,684	85,077	84,406	▲ 671	83,378	▲ 1,699	84,406
介護分	円	22,622	22,606	20,433	▲ 2,173	20,390	▲ 2,216	20,433
合計	円	108,306	107,683	104,839	▲ 2,844	103,768	▲ 3,915	104,839

年度	1人当税額	差額（円）
2017年度	103,870	
2018年度	105,755	1,885
2019年度	108,684	2,929
2020年度	107,683	▲ 1,001
2021年度	103,768	▲ 3,915

福山市社保協 2021年度方針(国保税について)

- ① 子どもの均等割り免除制度の拡充に向けた運動に取り組めます。
- ② 資格証明書、短期被保険者証の発行をやめさせる運動に取り組めます。

※ 横浜市に続き、広島市、三次市は短期被保険者証の発行を実質中止し、資格証明書の発行をやめる予定です。